

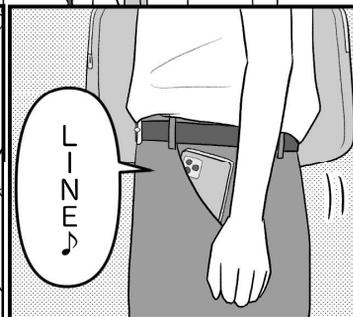
10代のための
「性と加害」を学ぶ本

暴力の「入口」「根っこ」「しくみ」を知る
包括的性教育マンガ

著／櫻井裕子
齊藤章佳
漫画／イゴカオリ

プロローグ

入口を知って防ごう
性暴力・性加害

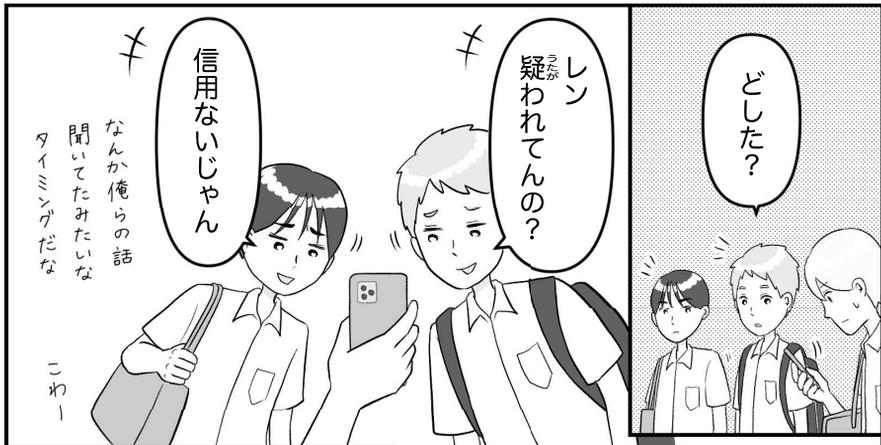


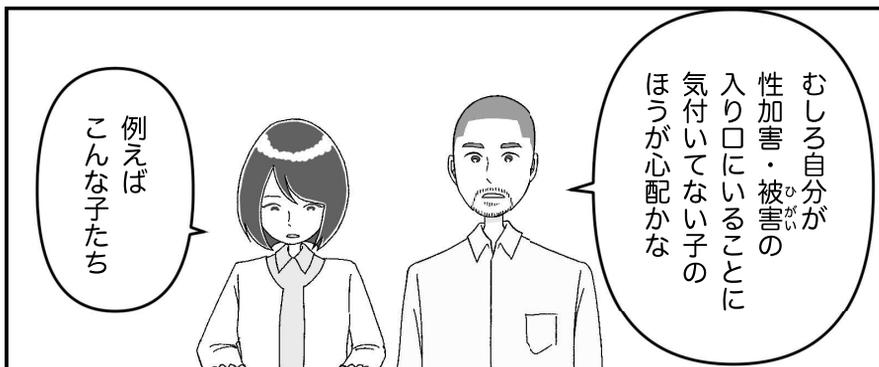
一応スマホを与えた親として
知らせておく

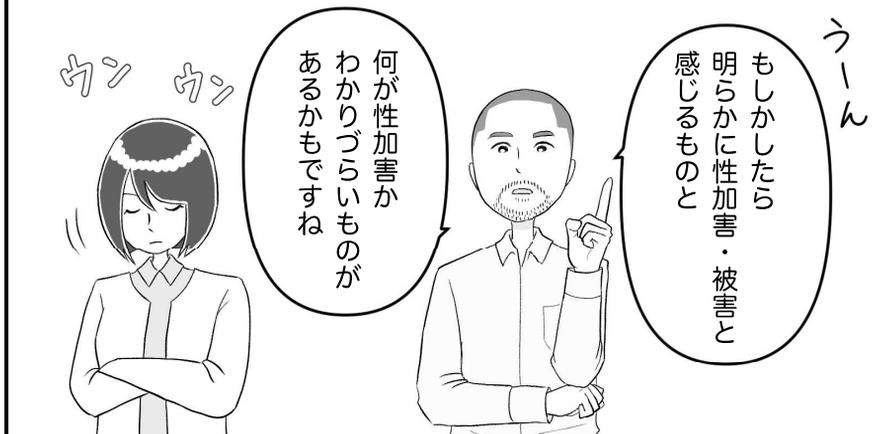
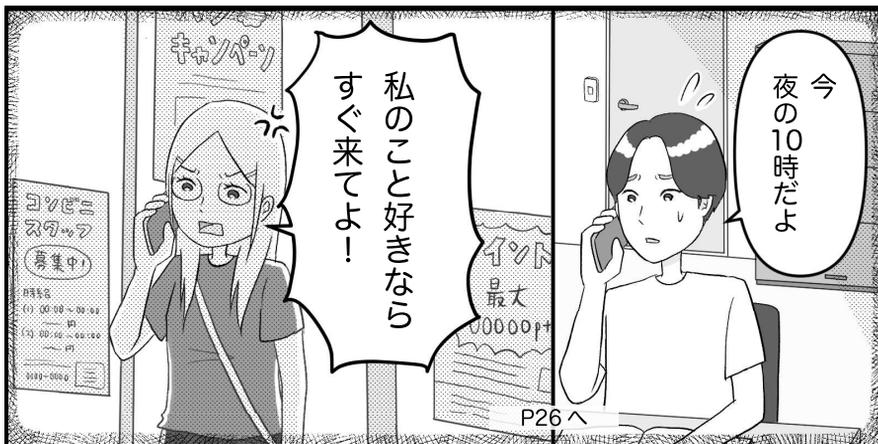
10 : 05

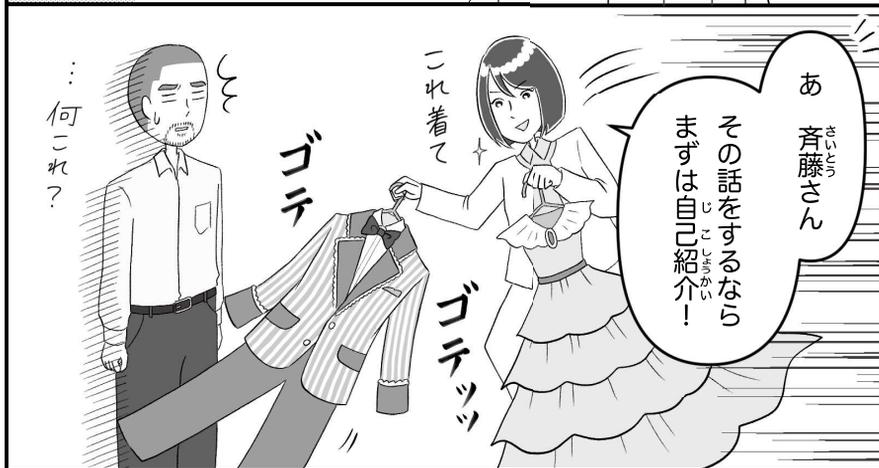
中高生による盗撮の摘発
人数増加。4割は校内で発生

16 : 05









自己紹介

ほうかつてき

包括的性教育で

よりよい人生を

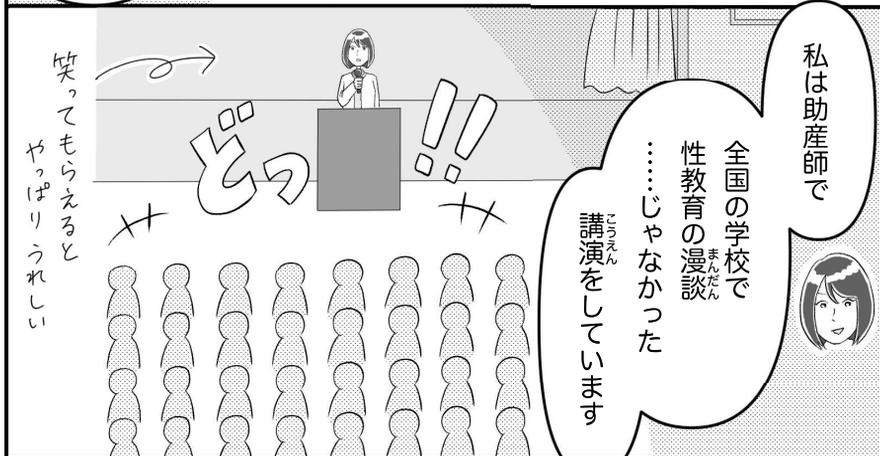
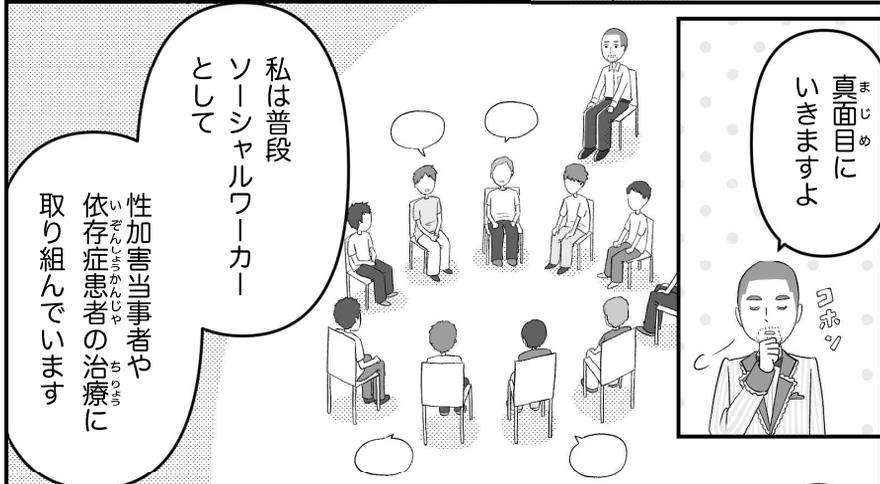
「性的同意」は

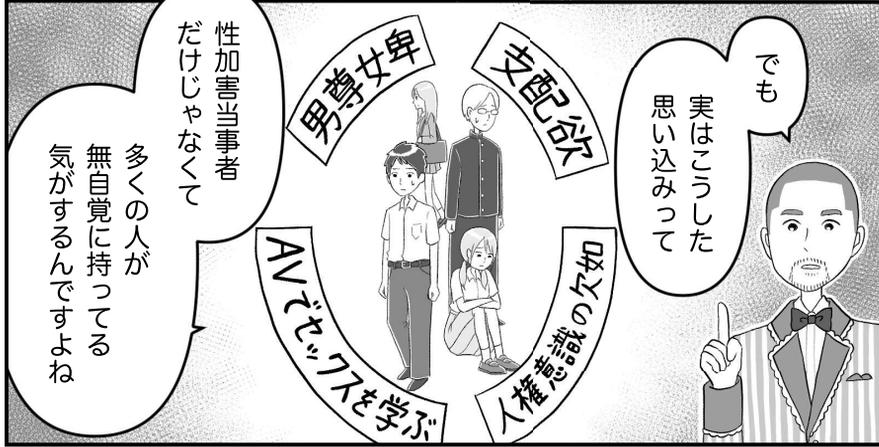
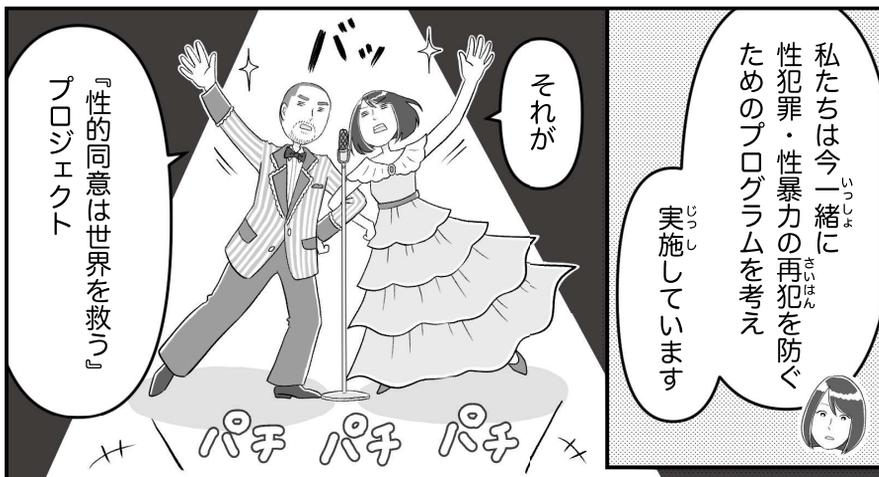
世界を救う！

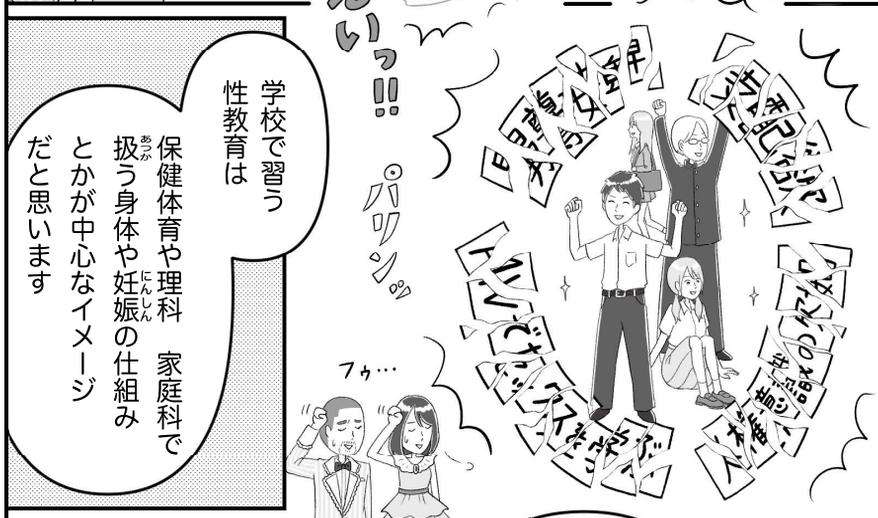


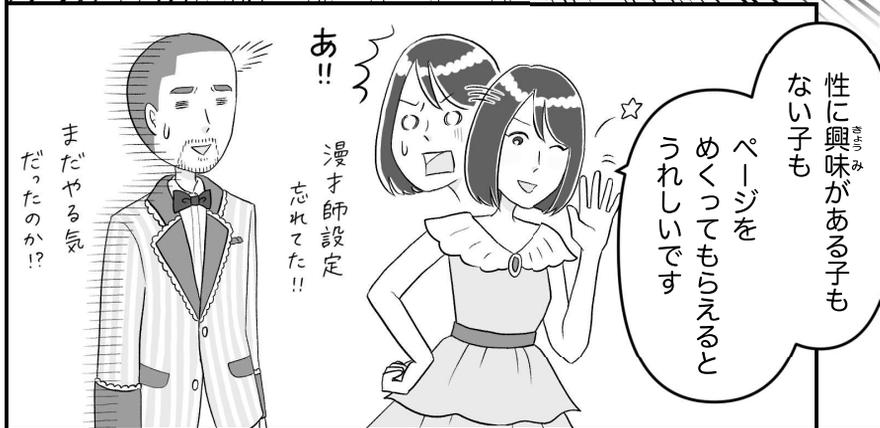
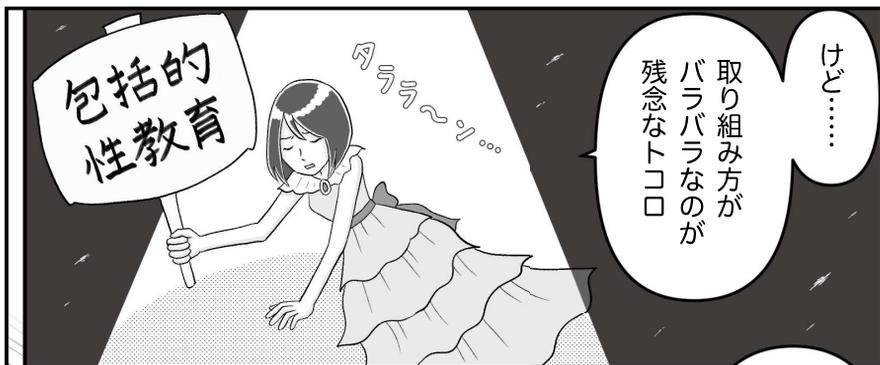
※1 自らも依存症を経験し、「自助グループ」の有用性を実感し「依存症ヲタク」を自称している。詳しくは172ページを参照。

※2 『性的同意は世界を救う—子どもの育ちに関わる人が考えたい6つのこと』（時事通信社、2025年）。保護者や教育関係者の方々は読んでください。









- プロローグ 入り口を知って防ごう 性暴力・性加害 2
- 自己紹介 包括的性教育でよりよい人生を 「性的同意」は世界を救つ！ 8
- 大人の方へ 16

パート1

「人間関係」から考える性と加害

- ① 性暴力は人間関係の病 20
- ② カップルでも どちらかが我慢 問題アリ 26
- ③ 無理のない 自分でいられる人間関係 理想的 32
- コラム① 「デートDVチェック」をやってみよう 38

パート2

「価値観、人権、文化、セクシュアリティ」から考える性と加害

- ④ 自分のからだ 自分で決める権利がある 「からだの権利」を知っておこう 40
- ⑤ 内輪ノリ レッドゾーンに 侵入注意！ 46
- ⑥ 世界は広い！ 価値観は多様！ 52
- コラム② 悪ふざけの線引きはどこにある？ 58

パート3

「ジェンダーの理解」から考える性と加害

- ⑦ 女子は〇〇 男子は×× 決めつけは乱暴 60
- ⑧ 権力↓ 支配↓ 暴力 連鎖しやすい構造知ろう 66
- ⑨ 性的指回 「性自認」「性表現」は多様 「ふっ」って何？ 72
- コラム③ 「SOGIESC」と「LGBTQ」 78

パート4

「暴力と安全確保」から考える性と加害

- ⑩ AVはツクリモノ マネるな 危険 80
- ⑪ 「対等性」「明確性」「非強制性」「非連続性」の4つのポイント 86
- ⑫ 超ラブラブな関係でも 性的同意は毎回どうつう 92
- ⑬ 性的画像の「撮る」「持つ」「見せる」「見る」どれも暴力 98
- コラム④ 「フリ」と「恋愛」は魔物！ 104

パート5

「健康とウェルビーイング（幸福）の
ためのスキル」から考える性と加害

- 14 ゆがんだ価値観増幅させる コミュニティとは距離
おこつ 106

- 15 イヤよイヤよはまじでイヤ！ 112

- 16 心理的苦痛と性的行動 背中合わせのケースあり
ストレスをためこみ加害に向く原理 118

- コラム⑤ 「性的同意」で断りたい時に使えるアイテ
ムあります 124

パート6

「人間のからだと発達」から考える
性と加害

- 17 月経の痛い・つらいは人それぞれ 126

- 18 妊娠・不安は二人事 132

- 19 見た目の決めつけ差別の一種 138

- コラム⑥ 避妊とは「ピル」「コンドーム」「アイユーエス」
もしもの時の「アフターピル」 144

パート7

「セクシュアリティと性的行動」から
考える性と加害

- 20 満足度 サイズよりも思いやり パーツより安心
感・信頼感に関係アリ！ 146

- 21 ソロプレイと「おかず」 ローターションしよう 152

- 22 「性」尊厳をお金で「買う」暴力 158

- コラム⑦ ソロプレイは自分の「快」を知るのに役立
ちます！ 164

パート8

「性と生殖に関する健康」から考える
性と加害

- 23 子宮のある人しか妊娠できない 子宮のある人だけ
でも妊娠できない 無責任射精は罪深い！ 166

- 24 悩みは「シェア」で軽くなる つながる・話す・打ち明ける
172

- コラム⑧ 性に関する悩みや不安は迷わず相談しましょう
179

- おわりに 180

- 参考文献 183

大人の方へ—すべての子どもたちが
幸せに生きられる世界を実現するた
めに

●子どもを取り巻く性の環境は激変しつつあります

本書をお手にとつてくださり、ありがとうございます。この本のタイトルは『10代のための「性と加害」を学ぶ本—暴力の「入口」「根っこ」「しくみ」を知る包括的性教育マンガ』です。文字通り、「子どもの性と加害」をテーマに、何が性暴力なのか、そして加害行為がなぜ起きるのか、根っこには何があるのかということを考えていく本です。

性加害には、接触を伴うものと伴わないものがあります。前者の代表的なものとしては、痴漢、子どもへの性加害、レイプなどがあります。後者としては、盗撮、のぞき、露出行為、下着窃盗、ブルーミング、SNSを使ったものなどがあります。

ネットやSNSの普及により、現代の子どもたち

は、手軽に性的なコンテンツにアクセスできるようになっています。とりわけ、気軽に他者を撮影し、共有することもできるデバイスの登場で、接触を伴わない性加害・被害が以前よりも目立っています。

こうしたこともあり、文部科学省は2023年から「子どもたちが性暴力の加害者、被害者、傍観者とならないよう、自分や相手の生命と尊厳を大切に考えるを学ぶ」という「生命（いのち）の安全教育」を推進しています。この教育では、子どもたちの発達段階（学年等）に応じて、自他の身体を大事にして、性暴力に関する知識を持ち、性暴力が起きないようにする行動、対処方法を学ぶということを重視しています。

これらの教育内容は重要かつ必要であることは間違いないです。ただ、本書の著者、漫画家、編集者による制作チームは、子どもたちにもう少し違った角度からのメッセージも必要なのではないかと考えています。

●性に関して「ダメなこと」ではなく、「幸せになること」を伝える本です

そのメッセージは、「加害者・被害者・傍観者にならないような選択」だけではなく、「あなたも周囲の人も幸せになるような選択」をしてほしい、というものです。

性暴力の典型的な二次被害として、被害者の行動、服装、振る舞いが被害の原因だとする言説があります。自分の身を自分で守れなかった人が悪いという偏った主張です。他方で、加害者に対しては「性欲をコントロールできなかった異常者・モンスター」というレッテルが貼られがちです。この2つの言説は、正反対の立場の人に向けられるのですが、共通していることがあるように思えます。それは、被害者も加害者もダメなことをした本人が悪いという「自己責任論」です。この自己責任論は、「被害者・加害者・傍観者にならない」という考えと表裏一体の関係にあるのではないのでしょうか。

繰り返しますが、「被害者・加害者・傍観者にならない」というメッセージそのものがいけないと言いたいわけではありません。ただ、子どもが、性暴力Ⅱ性を使った暴力を行使されない・しないようにするために、性に関して「やったらダメ」という禁止・抑制だけではなく、「性を通してハッピーになるためにやってみよう」と伝える必要があると考えるのです。その「ハッピーになること」のごくごく基本は「性的同意」というキーワードに要約できます。

●「包括的性教育」をベースにしています

本書は、こうした考えに基づき、性に関するトピックスを扱っています。とりわけ、「包括的性教育」をベースとした性のあり方を、子どもたちに伝えたいと願って制作しています。包括的性教育は、従来の日本の学校で行われてきた身体の発達、妊娠の仕組みといったことだけでなく、人権、ジェンダー平

等、多様性といったことを基礎において、スパイラルに多角的に学ぶものです。

包括的性教育の指針と言えるユネスコの『国際セクシュアリティ教育ガイダンス』では次の8つのキーコンセプトが示されています。そして、本書のパート1～8は、この8つのキーコンセプトに基づき、子どもたちに考えてほしいことをピックアップし、構成しています。

1. 人間関係 ↓ パート1
2. 価値観、人権、文化、セクシュアリティ ↓ パート2
3. ジェンダーの理解 ↓ パート3
4. 暴力と安全確保 ↓ パート4
5. 健康とウェルビーイング(幸福)のためのスキル ↓ パート5
6. 人間からだど発達 ↓ パート6
7. セクシュアリティと性的行動 ↓ パート7
8. 性と生殖に関する健康 ↓ パート8

「性的同意」は、お互いを尊重し、よりよい人間関係を築くためのものです。性的同意の重要性を理解することは、人権の本質を理解することでもあります。これは、誰もが生きやすい社会につながるはずです。

性的同意は世界を救う。私たちはそう信じています。

『10代のための「性と加害」を学ぶ本』

著者・漫画家・編集者一同